

連合「なんでも労働相談ダイヤル」 (☎ 0120-154-052)
2014年10月 相談集計報告

○全体の特徴

■前年同月と比べ、正社員からの相談が件数・割合ともに増加し、全体の5割強を占めている。男女別では、前月と比べ、女性からの相談が3.2ポイント、78件増加した。

■8月、9月に引き続き「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」11.0%が最も多く、次いで「解雇・退職強要・契約打切」10.1%、「退職金・退職手続」8.0%となっている。業種別では、「医療、福祉」が最も多く、前年同月と比べ、4.7ポイント増加した。この要因としては、「医療、福祉」で女性からのパワハラ、嫌がらせの相談が増加したことがあげられる。

■具体的な相談内容では「無視や仲間はずれをされるなどの嫌がらせを受けており、心身の体調を崩した」「上司から嫌がらせや暴言、殴られるなどのパワハラを受け、精神疾患となり療養中である」など、パワハラ、嫌がらせを原因とするメンタル面での相談も増加している。

		2014年		2013年			
集計対象期間		10月1日～10月31日		10月1日～10月31日			
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,223		1,264			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	626	53.1%	男性	702	57.8%	
	女性	554	46.9%	女性	513	42.2%	
年代 (不明除く)	10代	10	1.1%	10代	6	0.6%	
	20代	152	16.3%	20代	131	14.2%	
	30代	199	21.4%	30代	213	23.1%	
	40代	301	32.3%	40代	316	34.2%	
	50代	180	19.3%	50代	170	18.4%	
	60代	77	8.3%	60代	79	8.5%	
	70代	12	1.3%	70代	9	1.0%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	604	52.8%	正社員	567	48.5%	
	パート	189	16.5%	パート	176	15.1%	
	アルバイト	82	7.2%	アルバイト	70	6.0%	
	派遣社員	61	5.3%	派遣社員	58	5.0%	
	契約社員	107	9.4%	契約社員	117	10.0%	
	嘱託社員	13	1.1%	嘱託社員	12	1.0%	
	臨時・非常勤職員※ その他	4 83	0.3% 7.3%		168	14.4%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療、福祉	150	17.4%	サービス業	153	17.2%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	143	16.6%	製造業	147	16.5%
	3位	製造業	134	15.6%	卸売・小売業	136	15.3%
	4位	卸売・小売業	116	13.5%	医療、福祉	113	12.7%
	5位	運輸業	81	9.4%	運輸業	85	9.5%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ※	133	11.0%	解雇・退職強要・契約打切	148	11.8%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	122	10.1%	就業規則・雇用契約	109	8.7%
	3位	退職金・退職手続	97	8.0%	セクハラ・嫌がらせ	101	8.1%
	4位	雇用契約・就業規則	87	7.2%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	93	7.4%
	5位	不払い残業・休日手当・割増賃金未払	86	7.1%	賃金未払い	71	5.7%

※の部分は、6月から表記を変更しました。